

相模原麻溝公園競技場等の次期指定管理者公募に向けた サウンディング型市場調査の結果概要を公表します

令和８年度に予定している相模原麻溝公園競技場等の次期指定管理者の公募に向け、当該施設の今後の管理運営に関し、民間事業者の皆様から市場性の有無や事業のアイデア等についてのご意見・ご提案いただく、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施経過

令和７年９月２６日（金） 実施要領の公表
令和７年１０月１７日（金） 事前説明会・現地見学会の開催【参加団体：４団体】
令和７年１１月１２日（水） 対話の実施【参加団体：２団体】
～令和７年１１月１３日（木）

2 調査内容

| | |
|--------|---|
| 対象施設 | 相模原麻溝公園競技場 相模原麻溝公園第２競技場 相模原麻溝公園グラウンド 相模原麻溝公園スポーツ広場 |
| 主な対話内容 | １ 実施事業について ２ 施設の管理運営について ３ その他 |
| 対象 | 事業主体となる可能性がある団体又はそれらを構成員とするグループ |

3 結果概要

別紙のとおり

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、令和８年度に予定している相模原麻溝公園競技場等の次期指定管理者の公募に向け、検討を進めてまいります。

【担当課】

スポーツ施設課（施設管理班）

電話 042-769-8288

結果概要

| 項目 | 内容 |
|---------------|---|
| 1 実施事業について | <p>(1) 施設の魅力向上につながる自主事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギングコースを活用した事業の検討 ・高齢者向けの健活イベント等の開催 ・弊社スポーツ事業との協働 ・他の自治体においては実際にイベントを開催し、謎解きやスタンプラリー、スポーツ関係の教室を実施している ・音楽フェスティバルの開催 ・ナイター記録会の開催 <p>(2) 地元の団体等やホームタウンチームと連携、協働した事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体においてコンソーシアムとして協働しているため、問題なく実施できる ・サッカー教室の開催 ・各団体と連携した様々な種目の教室の開催 <p>(3) その他、施設を活性化するための事業、PR広報等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の事業を維持しつつ、各地元団体と弊社グループ事業を連携し施設を活性化していきたい ・メインスタンドから初日の出を見てもらうイベントの実施 ・近隣施設と連携した情報誌の発行 ・最寄り駅へのポスター等の掲示 |
| 2 施設の管理運営について | <p>(1) 施設の利用率を上げるための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のホスピタリティ、設備環境の向上 ・他自治体で実施した実績より稼働率が高かったものを優先的に導入していきたい ・スポーツ広場における指定管理者による高齢者向けのスポーツ教室の実施 <p>(2) 敷地内の樹木の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題なく実施できる ・巡回時の目視及び打診棒で叩くなどの日常点検 ・専門業者による現地調査を実施し、計画的な安全管理 ・現行の指定管理料で伐採等に係る必要な費用を捻出することは困難 <p>(3) 事業経費について</p> |

| | |
|-------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進んでおり、トイレ等の設備面については、コストがかかる ・多数のマンション、施設の管理実績があり設備点検のコストパフォーマンスで貢献できる ・大規模修繕等、建物に関する部分においても一括で早期に対応することができ、修繕の優先順位や予算に合わせたプランニングが可能 ・物価高騰等による経費増加に伴う指定管理料の見直しの必要性がある <p>(4) ホームタウンチームの試合開催時等における来場者等の安全確保のための対応策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチームの運営側との連携により安全教育、訓練、研修及び自治体のハザードマップや指針を基に災害時での緊急対応を実施していく ・ホームページ及び施設内での注意喚起 ・今後更なる来場者の増が見込まれた際のジョギングコースの利用制限の検討 |
| 3 その他 | <p>(1) 令和3年度の指定管理者募集要項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費や管理上使う物品等の高騰がある中で、今の指定管理料では厳しいところがある ・地方自治体の財政状況が厳しさを増し、より効率的かつ効果的な対応が求められている中で、「社会資本整備や行政サービスの提供にあたって、一定の対価に対し最も価値のあるサービスの提供を図る」Value for Money (VFM) の概念のもと、「収益性増加・経費削減」を実現し、貴市の財政改善への貢献を目指していく ・供用期間が1月1日～12月31日になっているため点検等の実施が困難 ・施設の老朽化に伴い、修繕の必要箇所の増加 ・天然芝フィールドの過密スケジュールによる、新たな大会の誘致等が困難 ・防災施設の維持管理及び修繕等の責任の所在が不明確 |